

# 平成30年度 第1回国民健康保険運営協議会資料

## 【保健事業関係】

### 1 第1期データヘルス計画及び第2期特定健康診査等実施計画の評価及び見直しについて

- |                              |      |   |
|------------------------------|------|---|
| (1) 糖尿病性腎症重症化予防事業の取り組みについて   | ———— | 1 |
| (2) ジェネリック医薬品差額通知事業の取り組みについて | ———— | 2 |
| (3) 医療機関受診勧奨通知事業の取り組みについて    | ———— | 3 |
| (4) 特定健診・特定保健指導の取り組みについて     | ———— | 4 |

# 1 糖尿病性腎症重症化予防事業の取り組みについて

## (1) ストラクチャー・プロセス評価

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算額	3,684千円	3,447千円	3,420千円
決算額	1,204千円	815千円	
人員体制	【担当】1名 【委託業者】㈱ベネフィットワン・ヘルスケア		
実施場所	1人5回まで面談及び電話等の支援を実施 <初回・2回目・中間評価>公共施設で面談実施 <その他>手紙等で情報提供し、電話にて支援を実施		
実施内容	特定健診等の結果から、慢性腎不全（透析）に移行するリスクが高い被保険者を対象に、重症化を阻止・遅延させるための保健指導を実施し、対象者の健康維持・医療費適正化を図る。		
実施期間	申込期間 6月中旬～7月中旬 指導期間 8月～3月		
実施体制・方法	医療機関と協力し、対象者選定を行う。 対象者への案内文送付、勧奨、保健指導については、民間事業者に外部委託。		

## (2) アウトプット評価

	対象数	目標	達成状況
平成28年度	11人/106人 (利用率10.4%) (継続率100%)	指導実施 30人/年	未達成
平成29年度	6人/78人 (利用率7.7%) (継続率100%)	指導実施 30人/年	未達成

## (3) アウトカム評価

	対象数のうち 病期進行者数	目標	達成状況
平成28年度	指導実施対象者の糖尿病性腎症における病期進行者 0人	指導実施対象者の糖尿病性腎症における病期進行者 0人	達成
平成29年度	指導実施対象者の糖尿病性腎症における病期進行者 0人	指導実施対象者の糖尿病性腎症における病期進行者 0人	達成

## (4) 評価・見直し

平成29年度までは対象者の選定方法を特定健診実施医療機関で行っていたため、特定健診実施医療機関がかりつけ医でない場合が多く、判断しづらい状況となっていた。そのため、対象者の選定方法を特定健診実施医療機関ではなく、レセプトを活用して、かかりつけ医に選定する方法に見直しする必要がある。

事業の成果をHbA1cで評価したところ、終了時の数値で減少が確認できた方は、平成28年度は63.6%、平成29年度は16.7%であった。指導実施対象者の糖尿病性腎症における病期進行者は平成28年度・平成29年度ともに0人であるため、事業の成果はあったものと考えている。また、平成28年度・平成29年度の最終支援者全員が「参加してよかった」「まあ参加してよかった」と回答、また生活改善についても、継続すると回答していることから成果はあったと考える。

## 2 ジェネリック医薬品差額通知事業の取り組みについて

### (1) ストラクチャー・プロセス評価

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算額	2,514千円	4,189千円	4,189千円
決算額	1,758千円	2,146千円	
人員体制	【担当】1名 【委託業者】(株)NTTデータ		
実施場所			
実施内容	より安価な後発医薬品の利用率を向上させるため、差額通知を実施し、被保険者の負担軽減及び医療費適正化を図る。		
実施期間	毎月1回発送		
実施体制・方法	民間事業者へ外部委託		

### (2) アウトプット評価

	通知回数	目標	達成状況
平成28年度	毎月実施 8,060通	毎月実施	達成
平成29年度	毎月実施 9,837通	毎月実施	達成

### (3) アウトカム評価

	数量シェア	目標	達成状況
平成28年度	後発品普及率 59.15% 削減効果額 13,507,571円	後発品普及率 70%	未達成
平成29年度	後発品普及率 63.69% 削減効果額 50,965,962円	後発品普及率 70%	未達成

### (4) 評価・見直し

後発品普及率は目標達成できなかったが、普及率は増加をしている状況であり、削減効果額についても医療費適正化の効果が現れているため、引き続き差額通知により医療費適正化に努める。

### 3 医療機関受診勧奨通知事業の取り組みについて

#### (1) ストラクチャー・プロセス評価

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
予算額	1,361千円	972千円	972千円
決算額	970千円	887千円	
人員体制	【担当】1名 【委託業者】(株)NTTデータ		
実施場所			
実施内容	特定健診の結果に異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない人を対象に、受診勧奨通知を送付する。		
実施期間	10/11発送	8/25発送	
実施体制・方法	民間事業者に外部委託		

#### (2) アウトプット評価

	通知回数	目標	達成状況
平成28年度	1回 (198人)	年1回実施	達成
平成29年度	1回 (119人)	年1回実施	達成

#### (3) アウトカム評価

	対象者の医療機関受診率	目標	達成状況
平成28年度	効果測定対象者184人 受診者28人 対象者の医療機関受診率 15.2%	対象者の医療機関受診率 60%	未達成
平成29年度	効果測定対象者119人 受診者16人 対象者の医療機関受診率 13.4%	対象者の医療機関受診率 60%	未達成

#### (4) 評価・見直し

平成28年度は通知時期が遅かったことから受診率が低かったと分析し、平成29年度は平成28年度より通知の時期を早めたが、それによる効果は見られなかった。  
平成28年度・平成29年度ともに通知文に、発症のリスク値を示していたが、難しい指標が多く、対象者には分かりづらい内容となってしまう可能性がある。  
対象者にとって分かりやすい通知内容に見直しする必要があり、具体的には健康年齢を表示して、自分が何歳相当であるか分かりやすく表現する。

#### 4 特定健診・特定保健指導の取り組みについて

##### (1) ストラクチャー・プロセス評価

特定健診・特定保健指導 ※上段：特定健診 下段：特定保健指導	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
予算額	79,359千円	79,806千円	87,291千円	88,992千円	83,823千円	97,206千円	
	15,718千円	11,870千円	13,651千円	13,440千円	11,999千円	9,819千円	
決算額	77,429千円	79,745千円	77,932千円	76,822千円	73,071千円		
	4,026千円	5,373千円	4,525千円	3,805千円	3,214千円		
人員体制	【担当】1名 【特定健診委託業者】市医師会 ----- 【担当】1名 【特定保健指導委託業者】(H25～H26) ㈱ベネフィットワン・ヘルスケア (H27～) ㈱タニタ						
実施場所	小金井市医師会会員の医療機関 ----- (初回面接・中間評価・最終評価)市の公共施設で実施 (2回目以降)面接、電話などにより実施						
実施内容	国保に加入している40～74歳の方を対象に、「生活習慣病」を早い段階から予防するために、年1回の健診を実施する。 ----- 健診の結果から、生活習慣病のリスクがある方に、専門家による保健指導を実施する。						
実施期間	①40～64歳：6月～9月 ②65～74歳：9月～1月	6月～12月					
	8月～3月	9月～3月					
実施体制・方法	対象者は、事前に送付された特定健診受診券及び国民健康保険被保険者証を医療機関の窓口にて提出して受診。 ----- 民間事業者に外部委託						

##### (2) アウトプット評価

特定健診	受診者	受診率	目標	達成状況
平成25年度	9,397	54.9%	54.0%	達成
平成26年度	9,407	55.3%	55.5%	未達成
平成27年度	8,875	53.3%	57.0%	未達成
平成28年度	8,691	55.1%	58.5%	未達成

特定保健指導	利用者	実施率	目標	達成状況
平成25年度	179	19.8%	32.0%	未達成
平成26年度	193	20.2%	39.0%	未達成
平成27年度	227	25.8%	46.0%	未達成
平成28年度	136	15.8%	53.0%	未達成

(3) アウトカム評価

メタボリックシンドロームの 該当者及び予備群の減少率 (平成20年度比)	該当者	予備群者	合計	減少率	目標	達成状況
平成20年度	1,225	973	2,198			
平成25年度	1,343	866	2,209	-0.5%	平成29年度までに 25%減少	未達成
平成26年度	1,350	916	2,266	-3.1%		未達成
平成27年度	1,282	879	2,161	1.7%		未達成
平成28年度	1,304	866	2,170	1.3%		未達成

(4) 評価・見直し

特定健診については、53～55%くらいを推移しているが、目標未達成である。若年層（40代・50代）の受診率が低いため、若年層の受診率向上が課題である。若年層の受診率を向上させるため、分かりやすく効果的な受診勧奨を実施する必要がある。また、「がん検診と同時実施」「受診医療機関の拡大」「インセンティブの導入」等が有効な取り組みであると考えられるので引き続き検討・調整する必要がある。

特定保健指導については、年度によってばらつきがあるが、目標値を大きく下回る状況である。未利用者への個別勧奨の強化をする必要がある。文書・電話による個別勧奨しているが、より効果が大きい電話による勧奨を強化する必要がある。特定健診同様、「インセンティブの導入」等について、引き続き検討・調整する必要がある。

メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率(平成20年度比)については、目標値を大きく下回る状況である。特定健診の受診率、特定保健指導の実施率を向上させることにより、メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率は向上すると考えられるため、有効な取り組みを検討・調整する必要がある。